

ほつと！



令和6年3月
川越市教育委員会地域教育支援課

令和5年度 川越子どもサポート発表会を開催しました

2月3日（土）、川越市やまぶき会館において、「川越子どもサポート発表会」を開催しました。

この発表会は、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域がどのように連携を進めていけばよいのか、実践発表を中心に、みんなで考える機会として実施されているものです。

発表会当日は、各地区のサポート委員をはじめ、学校関係者、保護者など約300名の方々に参加していただきました。

発表地区の説明や資料・スクリーンの映像等を通して、各地区の活動を知ることができ、それぞれの地域における今後の活動推進につながるものと思われま

発表会では、はじめに14地区のサポート委員会の活動の様子がスライドで上映されました。各地区の活動を「学校応援団活動」と「地域の特色を生かした活動」に分けて紹介し、子どもたちが生き生きとした表情で、楽しそうに活動している姿が映し出されていました。

つづいて、今年度代表の山田地区と中央北地区の活動報告がありました。それぞれの地区から、子どもたちのために工夫を凝らして活動に取り組んでいる様子を詳しく発表していただきました。

その後、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」で、ベスト見つけ賞（金賞）に輝いた8名のうち7名の発表が行われました。作文・絵画・新聞それぞれの部門で受賞した子どもたちの発表は、堂々としていてとても立派で、参加者からあたたかい拍手をいただき、会場は和やかな雰囲気につつまれました。どの作品や発表からも、子どもたちがふるさと川越に強い愛着を持っていることが感じられました。金賞受賞者の発表に引き続き、受賞したすべての児童生徒の表彰式も行いました。



令和5年度川越子どもサポート発表会

ベスト見つけ賞（金賞）受賞者の発表



受賞者全員の表彰式



閉会行事では、遠藤実行委員長から「代表地区の発表も子どもたちの発表も、大変素晴らしかった。子どもサポート事業で、地域の特徴を生かした様々な事業を長年にわたって展開してきたことを、多くの方々に知ってもらいたい。そのためにも、各地区の事業に参加した方々や本日出席していただいた皆さんから、まわりの人たちに伝えてほしい。」という講評をいただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。

川越子どもサポート発表会 代表地区 活動報告

山田地区子どもサポート委員会

「下校見守り」「稲刈り」「藍染め」「まが玉づくり」「ホタルの飼育体験」などの活動について、たくさんの写真を交えて発表しました。山田地区の地域の特色を生かした素晴らしい取組を具体的に説明していただきました。各活動に参加した児童の生の声を動画で紹介したことも参会者に大変好評でした。



中央北地区子どもサポート委員会

ファシリテーターとパネラーに分かれて、会話しながらの発表が新鮮でした。「寺子屋教室」「まが玉づくり」「川越歴史探検（スタンプラリー）」「冬の広場であそぼ！」の活動について、立ち上げの経緯から現在の様子、工夫していること、失敗したことや課題まで含めて、具体的に説明していただきました。ワンチームでサポート委員自身も楽しみながら活動している様子が伝わってくる報告でした。



第4回川越市子どもサポート本部会議が開催されました

「川越子どもサポート発表会」および子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について、アンケート結果も参考にしながら、成果と課題を出し合い、協議を行いました。

さらに、来年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」実施要項と川越市子どもサポート本部会議年間予定について、協議を行いました。

あわせて、各地区の現状や課題について情報交換を行い、来年度に向けて話し合いを深めました。



子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」入選作品

※各部門とも、小学校低学年（小1～小3）、小学校高学年（小4～小6）、中学生の3クラスに分けて審査しました。

① 作文部門

○ベスト見つけ賞（金賞）

名細小2年 大森 柊弥
「いつもありがとう ぼくの地く」

近くの公園や地域のお祭り、登下校の見守りで出会う方々に優しくしてもらっている感謝の気持ちを書くことができました。

今成小5年 浅見 志帆
「私の好きな小ヶ谷のみ力」

田んぼやそこにいる生き物、自宅から見える電車といった小ヶ谷の魅力を多くの人に伝えることができました。

○小江戸賞（銀賞）

川越第一小3年 望月 颯真
「世界で一番おいしいごはん」

霞ヶ関小5年 関 千遥
「帰ってきた！夏祭り」

○子どもサポート賞（銅賞）

川越第一小3年 三浦 大和
「川越まつりのひみつ」

中央小5年 佐野 ことは
「この町の学校」

○入賞

古谷小1年 渥美 晴 「しぜんがゆたかなかわごえし」
川越西小3年 田幡 六花 「かわごえのおまつり」
南古谷小6年 山岸 柚翔 「久下戸の自慢」
新宿小5年 齋藤 眞臣 「ぼくの住む川越」

② 絵画部門

○ベスト見つけ賞（金賞）



南古谷小2年 西川 立
「じんじゃであそんだよ」



武蔵野小4年 富樫 ゆず
「喜多院」



高階中3年 田口 幸歩
「川越百万灯夏祭り」

○小江戸賞（銀賞）

大東東小3年 仲 希織 「それぞれ！豊田町のぼんおどり」
名細小5年 久保 陽愛 「小江戸川越 時の鐘」

城南中1年 河内 花音
「私たちの川越」

○子どもサポート賞（銅賞）

中央小2年 唐澤 柊真 「たのしい川越まつり」
高階西小4年 横山 昂永 「川越まつり ひっかわせ」

砂中3年 成岡 心
「新河岸川の舟運」

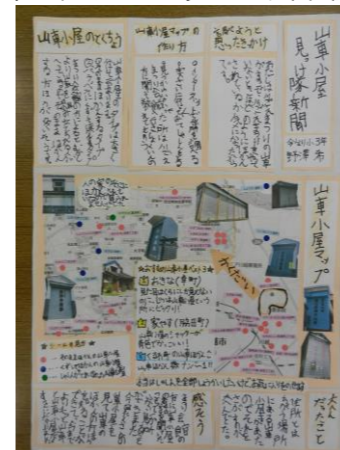
○入賞

月越小1年 松本 颯卯 「高砂の山車」
仙波小4年 鹿島 叶丞 「山車のある生活」
川越西小1年 野村 柚衣 「ひやくまんとうまつりでおどったよ」
武蔵野小5年 加畑 珠奈 「ばえる!!氷川神社の風りん」
砂中3年 貝塚 進太郎 「俺が踊る小江戸の夜」
砂中2年 大谷 優 「KURA-2123 in the future」

③新聞部門

○ベスト見つけ賞（金賞）

今成小3年 野澤 希 「山車小屋 見つけ隊新聞」
川越第一小5年 筋野 有莉 「川越まつり山車新聞」
東中1年 滝本 陽香 「川越の伝統 川越まつり」



○小江戸賞（銀賞）

川越第一小3年 鈴木 穂乃香 「川越アート新聞」
泉小6年 吉田 一生 「小室の自まん新聞」
東中1年 野原 千裕 「川越が今に至るまでの川越の歴史新聞」

○子どもサポート賞（銅賞）

川越第一小3年 兼田 悠人 「川越市を走る電車たち」
南古谷小6年 土田 真丸 「久下戸囃子新聞 第三弾」
城南中3年 伊藤 輝 「喜多院大特集」

○入賞

川越小1年 皆本 結衣 「さんばそうしんぶん」
新宿小5年 小野寺 直登 「川越の農業新聞」
東中1年 恒石 明里 「川越の国指定重要文化財」
川越第一小3年 小林 季杜音 「たねまき新聞」
南古谷小4年 吉永 光希 「小江戸体験新聞」
東中1年 江崎 蘭 「川越の特産品」

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展が開催されました

今年度も、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展が、川越市立美術館市民ギャラリーとアートホール（2月16日～18日、全応募作品の展示）で開催されました。

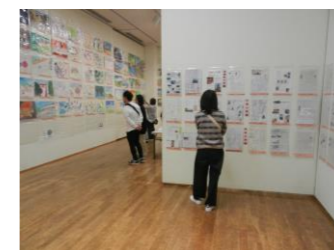
開催期間中、全応募作品739点が展示され、来場者は902名でした。

テレビ埼玉「ニュース930」やJ-COM「ジモトトピックス」でも、作品展の様子が放送されました。

アンケートでは、「子どもたちの地元に対する愛のある作品であふれていて、見ていてとても温かい気持ちになりました。」「川越をこよなく愛している子どもたちが未来の川越をよりよい街にしていくのだなあと感じました。」等の感想をいただきました。今後も、子どもたちが地域の方々とのふれあいをとおして、川越や地域のすばらしさを感じながら成長していったらいいと願っています。



1階 市民ギャラリー



2階 アートホール

